

胆振管内 苫小牧市立拓勇小学校

1 学習活動の概要

先住民族であるアイヌの人たちの歴史・文化等を尊重する態度を育むことができるよう、総合的な学習の時間の学習計画に「ウポポイ」の各施設の見学や職員による説明を位置付け、探究的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

アイヌの人たちの衣・食・住、言葉、伝統行事、歌や舞踊などについて、「北海道の伝統や文化を調べよう」という学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

児童は、学校図書館の書籍やインターネットを活用して調べ学習を行いました。その後、「ウポポイ」の各施設の見学、伝統舞踊の鑑賞、職員による説明などを通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めました。

(3) 整理・分析

調べ学習や「ウポポイ」における学習を通して、収集した情報を分類したり、比較したり、関連付けたりしながら、自分の考えを整理しました。整理・分析する活動を通して、伝統的に継承されてきたアイヌ文化のよさについて理解を深めました。

(4) まとめ・表現

調べたことを児童同士で伝え合うため、新聞にまとめ、交流しました。考えたことや感じたことを伝え合うことにより、児童は、異なる文化や価値観をもつ人々が互いを尊重し合って、共に幸せに生きることの大切さに気付きました。

また、学習発表会での表現活動において、アイヌの人たちの文化について発表しました。



【国立アイヌ文化博物館での見学の様子】



【学習発表会の様子】

3 児童の感想等

- ・アイヌの人たちの文化について調べ、実際に博物館を見学したことで、アイヌの人たちが大切にしていることについて詳しく調べることができました。
- ・「ウポポイ」では、アイヌの人たちの伝統芸能を鑑賞したことで、アイヌ語や踊り、衣服について、興味をもったので、もっと調べてみたいです。